

弘前大学農学生命科学部地域環境科学科農業土木プログラム
平成17年度外部委員会（教育目標評価委員会・教育システム改善委員会）合同会議 記録

日時：平成17年7月23日（土）15：00～17：00

場所：農学生命科学部445室

出席者：〔外部委員〕 笹森,田中,砂沢,櫻田(隆),桜田(清),山田

〔プログラム教官〕 万木,工藤,佐々木,泉,角野,加藤,谷口,桧垣,藤崎

進行：工藤

記録：藤崎

前回の記録の確認

資料の通り承認された。

また、今後、記録の確認については、次の会議を待たずに電子メールで行うことが了承された。

議題

（1）教育目標評価委員会

学習・教育目標について、前回の指摘を踏まえて修正した旨の説明に対し、さらなる修正を求める意見はなく、了承された。

また、学習・教育目標の達成度評価手法についても、ポートフォリオ（学びの記録）を用い、成績取得のシミュレーションなどを通じた学習指導の実情の説明があり、修正意見はなく、了承された。

（2）教育システム改善委員会

教育システム全般のあり方について、システム点検図が提示され、またこのことを検討するため教育システム改善委員会規則の修正について提案があった。規則の修正については了承され、システム点検図については、教育褒賞選考委員会を明示すべきとの意見があり、このことも含め、線や矢印の使い方についても更なる工夫を加えることとなった。

授業評価に関連して、今回初めて実施した教育褒賞について、経過と選考結果について説明があり、了承された。

在校生・卒業生の学習達成状況では、今春の卒業生（認定には該当しない）の基準達成状況、3年生のJABEEプログラム履修者が昨年度の11名から19名へと大きく増加したこと、ポートフォリオを通じた指導で学生の勉学意欲に効果が出ていることなど紹介があり、了承されたものの、学生への技術士への魅力を紹介する努力について、卒業生や就職先の上司などを活用するなどして今後とも努力するよう意見があり、講演会の開催など検討することとなった。

（3）その他

JABEE認定が予算獲得に有利なのかという質問に対し、そういうことはないが、教育設備の更新にプログラムとして検討していることが紹介され、外部資金の獲得は様々な機会をとらえて実施されており、卒業生からの寄付など協力が得られればありがたい旨、返答があった。

自己点検書の本文と引用・裏付け資料の記載事項の不備についても指摘があり、J A B E Eへの提出に向け、見落としがないよう修正していくこととなった。

その他

平成15年度から2年間の任期で委員をお願いしたが、平成17年度からもう2年間委員を交替せずをお願いすることとなった。

前回、各職場へ委員の依頼願を提出することとした、としていたが、大学事務との協議の上、職場への依頼願は不要となった。

次回は、実地審査後の11月後半から12月あたりに開催する予定。